

これまでの振り返りの総括

	取組成果があった事項	課題が残る事項	今後取り組むべき方向性
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転出超過の緩和 ・ 生産年齢人口と高齢化率の維持 ・ 市域内の高齢化の偏りの緩和 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総人口の減少と高齢者（特に後期高齢者）の増加見込みへの備え ・ 転出数の高止まり ・ 自然減の加速化 ・ 若年者層の転出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市や国の人口減少や少子高齢化の実態・推計を踏まえた考え方の整理 ・ 人口減少・少子高齢化が進む中であっても、全ての世代の一人ひとりが自分らしく生き、幸せに暮らせるまちづくり
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に強い都市基盤の整備と協力体制の構築 ・ 地域活動団体の維持・形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害リスクの高まりと頻発化・激甚化する災害への対応 ・ インフラの老朽化 ・ 安全・安心の体制の市民への周知 ・ 地域活動の継続的な維持・発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害の激甚化・頻発化に備えたハード面の整備とあわせて、市民・事業者等、様々な主体と連携したソフト面の防災力の強化 ・ 有事への備えが平時の安心の構築にもつながるフェーズフリーなまちづくり
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくり・いきがいつくりの環境整備 ・ 平均寿命・健康寿命の延伸 	<p>健康感の低迷</p> <p>必要な人に必要な支援が届けられる体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑化・複合化する要因にも必要な支援が届けられる体制の強化 ・ 年齢を問わず、居場所や生きがいを持てる環境づくり ・ 心身ともに安心して暮らし続けられる環境づくり
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりに寄り添った支援 ・ 個別最適な教育体制の構築 ・ デジタルを活用した教育の深化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て制度や体制の市民への周知 ・ 学力の低迷 ・ 子ども一人ひとりに寄り添った支援 ・ 楽しい学校づくり ・ 子育て世代への経済的支援 ・ 子どもが抱える社会不安の払しょく ・ 若者への PR に向けた市内高校や大学との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な家族の形やライフスタイル、個性にあわせた一人ひとりに寄り添う支援 ・ デジタルや地域とのつながりなど、様々なツールや主体を活用した学びの展開

都市・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地価の上昇 ・ 駅周辺エリアの整備と活性化に向けた取組検討 ・ SDGs の浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフラの老朽化 ・ 快適な移動空間(歩行・走行空間) ・ 高齢化社会における交通弱者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化したインフラや公共施設の将来を見据えた更新・再編 ・ 地勢的優位性やコンパクトな市域などの強みを活かした都市基盤整備 ・ 社会や環境に配慮したまちづくり
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業の集積を生かした企業間連携 ・ 創業件数の増加 ・ ふるさと納税寄附額の増大 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所数の減少 ・ ものづくり産業への偏り ・ 市内企業の PR ・ 各業種での担い手や後継者の不足 ・ 女性の就業率の低迷 ・ 消費の市外流出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市で操業・創業することの強みや魅力を分析し、市内外に発信 ・ 既存の産業の後押しや支援を行うとともに、産業の重層化を視野に入れた産業振興
文化・地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的資源を活用した市の PR ・ 地域資源を掛け合わせた取組の実施(シェアサイクル) ・ 民間企業等のまちづくりへの参画主体の増加 ・ 公民連携の各分野への広がり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源の磨き上げと積極的な PR ・ 公民連携の新たな参画主体の拡大 ・ ブランディングと知名度の向上 ・ 外国人のまちづくり参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市が有する資源や経験を活用し、「大東だからこそ感じられる幸せ」を創出 ・ 地域のつながり、コミュニティの維持・発展に向けた支援
行政サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政手続きのオンライン化率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政の硬直化 ・ 行政情報の発信 ・ デジタル活用と業務の効率化 ・ 情報弱者に向けた支援 ・ オンラインとリアルのハイブリッドな取組 ・ デジタル人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来にわたって持続可能な財政基盤を構築するため、限られた財源の有効活用と歳入の確保 ・ 行政サービスにおける DX から、次なる段階として、スマートシティも視野に入れた検討 ・ デジタル化による利便性・効率性を高めることとあわせて、デジタルデバйдへのきめ細やかな対応と、人でなければできない心の通った行政サービスの推進